

Contest

【過去の結果発表】

2005年作曲コンテスト ファンファーレ編 結果発表

コンテストへの沢山のご応募ありがとうございました。入選された坂本さん、2度目の入選おめでとうございます。今回も、たくさんの方々にご応募くださり、予備審査を実施いたしました。講評できなかった応募者の皆さま申し訳ありませんでした。

残念ながら、惜しくも入選に至らなかった皆さんも、次回コンテストに再度挑戦してください。

また、次からはより作曲にシフトした新しいレギュレーションになりますので、ふるってご参加ください。

(2006/02/20)

Fanfare “LET'S GO OUT！” 作曲：坂本真人

試聴は→[こちら](#)

【コメントとプロフィール】

■楽曲について

久しぶりに涙でした。2年半精進しました。偶然でしたが前回の入選から数えて、ちょうど30曲目の作品になります。

この曲はファンファーレの組曲として作曲している2曲目であり、私の家族の日常生活の各シーンをイメージして作りました。

32分音符や三連符のキレをはっきり演奏することで朝のあわたしさを、今日一日への期待感をストレートに表現できると思います。

朝、パンをかじりながら、あわてて家を出て行く子供たちや、疲れた体に鞭打って仕事に出かける父や母の様子を想像しながら演奏してください。

では、”行ってらっしゃい！”

■プロフィール 坂本 真人：

日大芸術学部音楽学科トロンボーン専攻卒業後、中学校の音楽教師を20年勤める。

現在は作曲家になる夢を実現させるべく、コツコツ勉強中。

2003年度、ZOORASIAN BRASS オリジナル作曲コンテスト入賞”組曲 5人の賛歌”。

【審査員】

中川 喜弘 Trumpet 奏者、アレンジャー、ZB 音楽監督 (Jazz 担当)

三澤 慶 Trumpet 奏者、作曲家、ZB 音楽監督 (Classic 担当) 2006 年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者

高橋 宏樹 作曲家、ZB 専属作編曲家、2005 年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者

大塚 治之 ZOORASIAN BRASS 制作者

【総評】

このところ、中学生や高校生といった若い方々がチャレンジして下さるケースが増えてまいりました。昔でしたら、若い方々の作品は、新鮮さはもってはいれるものの、どうしても幼稚な部分があり、作品としての完成度に欠けることが多かったのですが、最近ではむしろ大人の応募者よりも、全体の構成や和声がちんとしていた作品が多いことに、審査員一同驚かされました。

ただ、大胆な発想や、新しい取り組みがすっかり影を潜めており、無難にまとめる傾向が強くなっていることに、少し懸念を覚えます。

今回入賞した、坂本さんの作品は羽目を外さない程度に冒険が見られ、和声の巧みさは審査員から高い評価を得ました。

当コンテストは出版を目的としており、誰も演奏しないような難解な作品や、どこにでもある作品ではなく、常に新しい魅力的な作品を求めています。今後とも素晴らしい作品が集まることを審査員、制作者一同楽しみにしております。

(2006.02.20 ズーラシアンブラス制作者 大塚治之)